

我が社の取組公開します！

「あおもりキャリア教育応援企業表彰」 受賞企業・事業所等の取組紹介

- | No. | 表彰企業・事業所・団体名（市町村） |
|-----|------------------------------------|
| 1 | 社会福祉法人三徳会 十和田めぐみ保育園（十和田市） |
| 2 | 社会福祉法人印光会 幼保連携型認定こども園 もりた保育園（つがる市） |
| 3 | あおもり街てく（青森市） |
| 4 | イオンリテール株式会社 イオン青森店（青森市） |
| 5 | 社会福祉法人御幸会 アリス保育園（黒石市） |
| 6 | 河野商店（むつ市） |
| 7 | 社会福祉法人柏友会 特別養護老人ホーム桑寿園（つがる市） |
| 8 | ケーキ屋タックン（むつ市） |
| 9 | イオンモール株式会社 イオンモールつがる柏（つがる市） |
| 10 | 株式会社わんわん倶楽部 あおもり（青森市） |
| 11 | Atelier N（三沢市） |
| 12 | 有限会社ヒーローネット（三沢市） |
| 13 | 有限会社小野印刷所（弘前市） |
| 14 | 企業組合 JT&Associates 英語事業部（青森市） |
| 15 | 社会福祉法人報徳会（黒石市） |

1 社会福祉法人三徳会 十和田めぐみ保育園（十和田市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当園では、子どもさん一人一人を大切に保育するように努めています。また子どもさんのご家族に、子どもがいる喜びを感じてほしいと願っています。さらに、子どもをとりまく地域の方々に、子どもを育てることに感心を持って、子どもに手助けをしてほしいと思って働きかけています。実習を通して子供たちや保育士の様子から、何かを得て頂きたいと思っています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

私共も、生徒さんを受け入れる時に、保育士の役割をよく分かっていただくために、事前に、保育所保育指針を読んで来ていただくようにしています。（生徒さん達の、学年などにもよるので、担当教員と、相談して行っています。）保育士の仕事について、理解していただき、楽しいだけの職場体験と言うだけではなく、保育士という仕事の役割をよく分かっていただけるようになってきていると思います。最終日には、園児も交えて、感じた事を話ししてもらったりする機会も設けています。生徒さん達は、その日の目標などを掲げて頑張っている様子も多く見られています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

職場体験の工夫は、生徒さんの配置として、1つのクラスに一人ということ为原则とし、子どもとより関われるように設定しています。また、事前のオリエンテーションも、より理解をいただけるように、想像できるようにお話ししています。また、出前訪問は、なかなか講師の話では、イメージが付きにくいと思うので、保育園の様子を分かっていただく為に、写真を使って（画面に映すなどして）生徒さん達にお見せしています。また、その画像から、読み取れることは何かなどのクイズも取り入れて、楽しく授業をしています。

2 社会福祉法人印光会 幼保連携型認定こども園 もりた保育園（つがる市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

もりた保育園の理念や方針を理解してもらい、保育園の実態を体験あるいは実習することで、保育園の役割を学び、子どもたちとの触れ合いを通して感動を得てほしい。又、外部からの体験生や実習生を受け入れることで、当園の職員の振り返りができ、園全体で学ぶことが多いので、それぞれに対するの資質を高めることに繋がる。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

体験や実習に入る前に、個々人の目的や抱負等を出してもらい、その振り返りや喜び、そして反省、課題等を話し合う時間を持つことで充実した経験にする。又、それらは、当園の次の課題や問題解決に繋がり、当園にとっても有意義なものとなる。とにかく、子どもたちと外部生とが楽しく触れ合うことを優先的にし、当園の子どもたちには楽しさと感動を、実習生には感動とそれが将来への糧の一つになるものと信じている。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

体験学習生には、子どもたちへの取り組みを何か持ってきてもらう（遊びでもなんでも）。実習生には、きちんとした実習の目的と、日々の目標、そして感動や反省、疑問を見つけてほしいことを要望する。各年齢の全てに参加してもらうようにする。運動会では、実習生だけの応援合戦、7月の夜店会行事では、遊びのブースを実習生に預け活動をさせている。

3 あおもり街てく（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

青森市の観光、歴史などを紹介し、青森市を知ってもらい地元愛を育む活動の手伝いや、ボランティア活動を説明し、ボランティア精神について学んでもらいたいと考えている。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

スタッフが先生と電話で打合せしたり、場合によっては代表の工藤が学校へ出向いて打合せしている。職場体験では積極的に接客してもらっており、生徒の様子については日報に記載している。代表工藤、スタッフ2名で計画について打合せ、事後の報告を行っている。自主研修ではガイドが生徒さんの様子を観察し、スタッフに報告してもらっている。大型客船寄港時も、希望があれば積極的に受け入れし、外国人の方たちの接客等を行っている。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

出前授業では生徒が楽しく学べるよう面白く紹介している。またクイズ形式で質問し、生徒さんが途中で考える時間を作っている。

職場体験ではどのようなガイドをしているか実際にコースを歩いてもらったあと、スタッフから街てくのボランティア活動がコース案内だけではなく、多岐にわたる活動をしている事、スタッフの活動についても説明している。（ガイドは新町商店街の花植えや木札作り、取り付け作業をしていること、スタッフはお客様への記念品作りをしていること等を説明）

生徒さん達が飽きないよう、活動内容に変化を持たせている。（市内自主研修 事務作業手伝い 接客を1日の中で組み合わせるなど）

4 イオンリテール株式会社 イオン青森店（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社の事業はお客様の「生きることと暮らすこと」に深くかかわっています。この「日々のいのちとくらしを一つひとつ豊かなかたちに変えていくこと」がイオンの使命であり、私たち一人一人が「仕事」を通じて実現していく大切なテーマです。私たちはこのテーマを「すべてはお客様のために」の視点を持って日々の業務に携わっている、ということを伝えるようにしています。研修初日は店舗教育担当者が行いますが、2日目以降は一般の従業員同様に出勤してもらい売場に直行させています。これは、学校でいわれている5分前行動がなぜ必要なのか、校則はなぜ守らなくてはならないのか、学校で教わるすべては必ず、仕事につながっていることを実感させるためです。また配属先の既存従業員においても正しい作業手順を見直したり、安全面に問題がないか確認したりできます。何より自身の仕事に誇りを持って働いていることが再確認できる素晴らしい機会となっています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前打ち合わせ時…身だしなみの注意点はイラスト付きでわかりやすいものを使用しています。指示を受ける基本として、ポケットに入るメモ帳と筆記用具を準備させています。当日の不明点が無いように、打合せは細部まで行っています。

実習後 …反省点を記録し次回の参考にしていきます。
評価は学校から希望があれば記入しフィードバックしています。
いただいたお礼状は掲示し、全従業員が見ることが出来るようにしています。
冊子でいただいた場合は従業員食堂に設置しています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- ①出前授業時… 講話を聴かせるだけではなく、質問を交えたり、実際に動作を組み入れたりして飽きないような工夫をしています。
- ②職場体験時… 職場体験用の会社案内 DVD を視聴+あいさつの練習、メモの取り方など簡単な入社オリエンテーションを実施。実習生であろうとも、お客様にとってはイオン青森店の従業員に変わりはないことと、「お店の代表者」という意識を持って業務に臨んでもらうことを、特にお願いしています。
- ③社会科見学… 普段は見ることのできないお店の裏側を見学します。ダンボールを使わない輸送方法や環境に配慮した取り組みの説明をしています。品物を売るための工夫と品物の並べ方の説明をしています。大きな冷蔵庫、大きなエレベーターなども見学しています。

5 社会福祉法人御幸会 アリス保育園（黒石市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当園の事業運営方針の「次世代を担う子ども達のすこやかな成長を願い、保護者、地域を支援する」に基づいて地域の中学・高等学校の生徒と世代間異年齢児交流の中で、生徒に対しては、勤労体験を通し社会人として働くことの意義の場を提供したり、園児と触れ合うことで人との関わり大切さや自分も育てられてきたという感謝の気持ち等を実感できるよう受け入れている。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

中学生・高校生向けの資料を作成し、保育園について保育士についてわかりやすく説明した内容の物を配布している。また、初日には資料を基にオリエンテーションを行っている。職場体験・インターンシップ最終日には、反省会を開催し、生徒達と園長・副園長・主任が参加し、生徒達から一言感想を述べてもらい、園側からは、良かった点や仕事の大変さとともに、やりがいのある仕事でもある点など伝え、今後の意欲や進路を考える上での助言をしている。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

中学校の出前授業では、音楽室を提供していただき、保育士のピアノ伴奏に合わせて保育の現場で園児達が歌っている簡単な歌を歌ったり、パペットを持っていき生徒達に先生役、園児役をそれぞれ体験してもらうようにしている。また講義の間に手遊びなども取り入れ、メリハリのある時間配分をした授業を行うようにしている。

6 河野商店（むつ市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

小規模事業者ですが、サラリーマン時代の仕事の内容や事業者に転身してから社会とのかかわり方、地域資源を活用した取組について、学校教育、農福連携事業など社会性を持った経営方針のもと地域とのつながりを重視して活動しています。農業者、加工業者、販売業者、知的障害者施設等で作る「下北アピオス振興会」を平成26年に設立。自ら代表を引き受け地域内で食の六次産業化を推進し、一つの作物から幅広い社会活動を行っています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

対象が小学生から高校生まで幅広いため、その年代に合わせた内容を計画。小学生には地域内作物を活用した職業のあり方の学びを中心に、中学生には将来の夢に向かっての心構えを自らの体験をもとに講話を行っています。高校生には社会に入ったときの人との関わり方や家庭を大事にすることを中心に実施します。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

小学生には、実際のアピオスを持ち込んでクイズ方式で興味を示せるよう工夫をしました。中学生には六次産業化など授業の中で質問形式で進めました。高校生は更に専門的な内容にし社会人としての心構えを中心に講話。子供たちの成長に合わせたお話しに工夫を凝らすことを重点に実施してきました。

7 社会福祉法人柏友会 特別養護老人ホーム桑寿園(つがる市)

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

社会福祉法人柏友会は保育から高齢者福祉サービスを運営しており、地域に根ざし、地域と共に歩む法人です。法人理念の至誠・愛情・調和の実践や地域貢献の観点から人を育て、地域を育むことをミッションとしています。高齢者福祉の拠点である特別養護老人ホーム桑寿園では地域に開かれ、子ども・若者・お年寄りがいつでもふれあえる環境にあります。子どもにはお年寄りに対し、敬う心や他者へのおもいやりの心を身につけられるよう各年代に合わせたボランティア活動や日々の行事等の機会を支援しています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

- ①事業所内にはボランティア、職場見学体験等の際の担当者を設置し、受入れを実施しています。
- ②学校等の関係者とも事前連絡を密に行い、双方のねらいがぶれることのないように配慮しています。また、体験終了後にはボランティア担当者間において評価を行い、今後の改善計画に役立てています。
- ③1カ所ではなく、機能の異なる事業所等訪問し、様々な体験ができるようにしています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

当法人の教育支援活動に関しては子ども達に他者から受容される経験をしてもらい、自己肯定感を育むねらいがあります。そのため、なるべく入居されているお年寄りとの交流(コミュニケーション)をメインに自然に人と人との関係性を実感できるようプログラム設定しています。また、お年寄りとの交流の中で人に関わる喜びや自分が役に立っていることを体験担当者がその都度、フィードバックできるよう体験活動を行っています。保育園、小学校では「人と触れあう」ということを中学校、高校では「働くこと、職場内容を知る」ことを重点的に各年代に合わせた支援を行っています。

8 ケーキ屋タックン（むつ市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

インターンシップでは、普段お客様として来店しているときに華やかに見える部分の陰に華やかにするためのいろいろな苦勞や努力があることを伝え、お客様に喜んでもらうことで仕事の喜びややりがいを感じてもらいたいと思っています。

ユメココ教室等の出前授業は、社員が成長する機会と捉え、毎回社員を同行しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

「確認シート」によってこちらの要望を事前に学校に伝えています。

出前授業は、語りより実体験をメインにして構成して実技の大変さや楽しさを感じてもらおうようにし、講話後に質問コーナーを設けてできるだけ子供達の疑問に答えられるようにしています。

また、事後に学校から届いた子供達の礼状やアンケート結果を参考にして次回に取り入れるようにしています。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

インターンシップでは、お客様に提供する商品を作ったり、包装したりして、商品が店に並ぶ緊張感や嬉しさを体験できるように努力しています。

小学生対象の出前授業ユメココ教室では、横半分にスライスしたシュークリームの皮を人数分持参して、クリームを絞り入れる工程を体験してもらい、その後それを食べながら質疑応答を行っています。

9 イオンモール株式会社 イオンモールつがる柏（つがる市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

①地域の皆さまに、この地にイオンモールがあってよかったと思っていただけるような貢献をしたい。

②地域の皆さまにイオンモールつがる柏内での職業体験を味わっていただく事によって、今後社会に出ていく上での体験をして頂き、又イオンモールで働く事によりイオンモールのファンになって頂く事を目的としています。

③各学校様からのお申し出については、各専門店への申し込みだけでなく、イオンモールとしても積極的に受け入れ、イオンモールや館内の専門店への依頼など、積極的にかかわっていきたいと考えています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

- ①事前の館内ルールの説明等を実施する事により社会人としてのマナーを知ってもらっています。
- ②子供たちへの声掛け実施により店舗従業員とのコミュニケーションを図っています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

- ①私たちはご来店頂いたお客さま一人一人に商品だけでなく、ご満足いただけるサービスを提供するお客さま満足業であります。お客さまと直接触れ合う事により、人と人とのコミュニケーションの大切さを実体験して頂く事ができます。
- ②各学校様から依頼があった際にはイオンモールにて受入専門家をヒアリングし、各学校様にお伝えしています。但し、例年受入を実施している専門店へは直接依頼が行く場合が多い状況です。

10 株式会社わんわん倶楽部 あおもり（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

「小学生がなりたい職業」の中でトリマーは人気があるが、実際にどんな仕事をしていて、どうすればなれるのかが、まだ認知不足であると感じており、広く伝えていきたいと考えております。

実際に体験し、仕事の中身を理解してもらった上でトリマーになる人が増えてほしいと考え、出前授業や職場体験を積極的に受け入れる方針です。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

体験した子供たちが全員しっかりと学ぶことができているかが大事であると考えております。実施した子供たちの反応を踏まえ、次の体験内容に反映させております。人数よりも質にこだわり、しっかりと時間内に覚えてもらうことを重要視しております。自分の子供の頃の体験から、授業の中でしっかりと理解できなければ、あとから質問するのは子供にとって難しい事だと感じています。参加してくれた子供みんなにトリマーの内容とやりがいをしっかりと伝えるために、一回あたりの人数を絞り、講師と対話ができる状況で実施しております。



3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

ハサミなど専用の道具を使用し、生きた犬を直接トリミングさせてみるなど、実際の仕事現場に極力近い体験をさせるよう努めています。

また、クイズ形式などで興味をひきながら、トリマーの仕事について楽しく学べるような説明を心がけております。

そして、会場や対象年齢などの状況に応じて小型や大型、しつけの行き届いた犬を使い分け、安全面にも配慮しております。

11 Atelier N（三沢市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

会社に所属しない働き方、すなわちフリーランスで働くことのやりがい、喜び、苦労していることを伝えたい。従来の働き方にとられず、地方在住でも仕事においてはチャンスがあること、また将来就きたい職業があってもなくても、目の前のことに一生懸命に取り組むことで将来は変わってくる。私が現在の職業に就いた経験をもとに、自分の経験が未来の自分を創るということ、たくさんの可能性を秘めていることを子どもたちに伝えたいと思い、活動しています。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職業人講話をするにあたって気をつけていることは、自己肯定感を壊すことなくお話をすることです。いるだけで価値があるということを伝えたいです。また、職業人講話後に頂いた感想文は必ず目を通し、子どもたちがどの様に感じ行動したいと思っているかを考え、次回以降の講話に生かしたいと思っています。子どもたちの素直な感想は、私にとっても宝物であり今後の自分の仕事を進めていく上でも心を支えてくれたり、背中を押してくれる存在です。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

講話においては、パワーポイントで、写真や実体験を交えながら目で見てわかりやすく伝えようと思っています。また受賞したときに頂いた賞状や、出版本、製作に携わった本、パンフレットなども持参し、普段あまり聞くことのない現場のお話などもしています。また、『誰か（自分のためでもOK）のために料理を作る』ということをお忘れなく、お弁当やおにぎりなどの簡単なデザインが出来るようなワークも取り入れています。

12 有限会社ヒーローネット（三沢市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

我が社をこれまで築いてきた20年間のエピソード、つまり波乱万丈、紆余曲折だった時代を振り返り、さまざまな体験談を子供たちに語ることで子供たちに社会観や職業観を育てる事、また子供たちが「今からできる事は何か？」自ら考える力、将来「どんな時代になるのか？」想像する力をつける事がこの活動の目的であります。現在は会社の代表である私が職業講話をしておりますが、子供たちに講話をすることで逆に子供たちからパワーを貰い、心構えがリセットできるいい体験でありますので、将来若手社員の研修プログラムとしても出前出張できないか検討したいと思っております。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

だいたいの講話のタイトルは「夢に向かって」ですが、何年生を対象に講話するのか、6年生になったばかりか？卒業間近なのか？その時その時の状況に応じて話し方を変えております。講話体験後、子供たちから感想文を頂きますが、その感想文から子供たちが私の講話の中で印象に残った話は何か読み取ることができますので、今回はその部分を重点において話の構成を変えたりしております。時間が短いのであれもこれも話そうとかしなないで、シンプルの話の中にいろいろな要素が含まれるように意識し工夫して行きたいと思っております。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

私の講話は子供たちが飽きないで聴いてもらう為にある工夫をしております。それはクラシック音楽を聴かせながら話をする事です。もちろん支障がないように低音レベルで設定しております。実はクラシック音楽は脳をリラックスさせる効果があり、また脳を活性させて想像力を高めることもできると言われております。またなるべく子供と言葉のキャッチボールします。意見を求めたり、質問したりします。またその間に答えた子供たちには全員で拍手をするようにしております。

13 有限会社小野印刷所（弘前市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

当社の事業が地域社会にどのように役立っているか、印刷業界の社会的役割は何かを伝えるように心がけている。社員教育の一環として職場体験を受け入れている。印刷業界の予備知識を持たない子どもたちを受け入れることを通じて、どのように指導をすれば最も効果的に指導できるのかを当社の社員も学ぶことができる。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

職場体験に関する記録はデータにして保存。次年度以降の参考資料としている。

- ・タイムスケジュールについて 研修時間の計測を行い、次回以降に調整した計画を立てている。
- ・反省点をデジタルノートブックにして保存。共有参照できる環境を構築している。
- ・事前準備のToDoリストを作成し活用している。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

限られた時間ではあるが全工程を経験してもらっている。単純な作業経験ではなく全工程を経験することによって、印刷会社がどのようにして商品を流通させているのかを体験してもらっている。

終了後も折を見て職場体験を振り返ることができるように実用品（オリジナルノート）を制作してもらう等の工夫をしている。

14 企業組合 JT&Associates 英語事業部（青森市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

幼児、小学生達へ「英語を通しての人格形成の土台を作る」をモットーに市内10カ所の保育園で英語指導を行わせていただいております。日常「受け取る側」の中・高生達が「与える側」になり、「先生」と呼ばれる事で、自己肯定感を育み、現実的にテストの点数の為の英語から、コミュニケーションツールの為の英語へと新たな認識を持ってくれる事を目的としております。担当講師も中・高生へ指導する事により、後輩育成の良い機会となっております。



2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

事前に学校の先生から受入生徒さんの情報（性格・特性・英語の好き嫌い等）をお聞きし、レッスンの中で無理のない地点からスタートし、（例えば one two three）できるだけアシスタントとして生徒達の中に実際入ってもらいます。当日早めに来ていただき、①カリキュラム説明②練習③保育園での実践④担当講師との振り返り⑤留学生等による英語のみのランチタイム⑥レッスン準備サポートを行っています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

現場の子供達のみならず、保育園の担当の先生方、園長先生、外部団体（中小企業同友会）等へ出向き、社会人として身に付けるべきコミュニケーションスキルを養うべく「あいさつ」「自己紹介」「名刺交換」ができるように体験していただいています。

15 社会福祉法人報徳会（黒石市）

1 活動の目的、方針や社内の組織・体制について

社会福祉法人として、地域への貢献と共に、次世代の方の介護に対する興味から、介護職への意識の拡大と職業としての人材育成の一貫としてオリエンテーションを実施し、介護のことを学び、又、利用者の方と接することでコミュニケーションをどのようにとったらいいのか実際に付添い説明しています。

2 子どもたちへの教育支援活動を行う際の工夫について

学校からの要項にそって、法人内の各事業所の担当者が集まり、事前に打ち合わせを行い、オリエンテーションから体験までの計画を立てています。体験の当日は、職員とマンツーマンで項目ごとの体験を実施し、できる限り緊張や不安のないように工夫をしています。1日の体験について毎日振り返る時間を設け、次の日の目標や取り組みについてお話をいただいています。

3 出前授業や職場体験等を実施する際に行っている工夫等について

”介護のお仕事の魅力”を少しでも伝えることができるよう、実際、働いている職員の笑顔や声を感じていただけるよう、できる限り職員の近くで一緒に体験をしていただいています。利用者の方と会話をしたり、一緒に何かを作ったり、お昼の食事の配膳、お茶を出す等の体験をしてもらい、”人”と接する楽しさや魅力、挨拶などの大切さを学んでいただいています。